



青子  
BLUES 3

FOR  
ADULT  
ONLY

青子  
FOR  
ADULT  
ONLY  
BLUES3



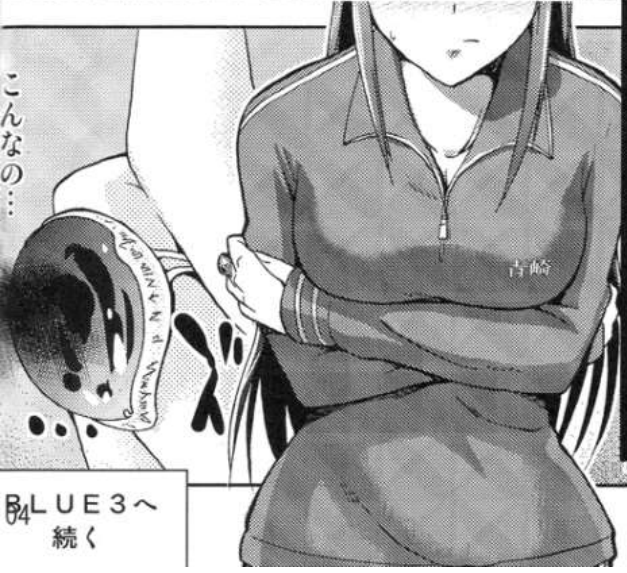


前回のあらすじ  
「赤いコート」の魔術師  
の陵辱により  
魔術刻印を改ざんされ、  
性感を強化される青子。

有珠のプロイで  
性感魔術の  
流れを止めるも、  
すでに学校にまで  
「赤いコート」  
の魔術師」の魔の手  
がのびていた。



保険室で人形たちに  
襲われる青子、  
中出しをされて  
魔術回路はさらに暴走。  
しかし徐々にその陵辱に  
期待を胸を  
膨らませつつあった…





—ココだ



学校まで  
掌握されてる  
現状で…

こっちは  
管理地の復帰も  
ままなっていない…

受身じゃ  
ダメだ…!!



無理は  
承知!

——だけど  
何とか耐えて  
工房ごと  
吹き飛ばす!

このっ!!

くっ

やれやれ  
君はつくづく  
真向勝負が  
好きな様だ

彼女とは  
真逆だね

——何で!?

はっ



既に多くの  
陣地を手中に  
しているんだ

次の手も  
考えられる・  
そういう事さ



—あの学校に  
敷いた  
生贄の結果：

あれが街中に  
用意してあると  
したら—

どうかね？



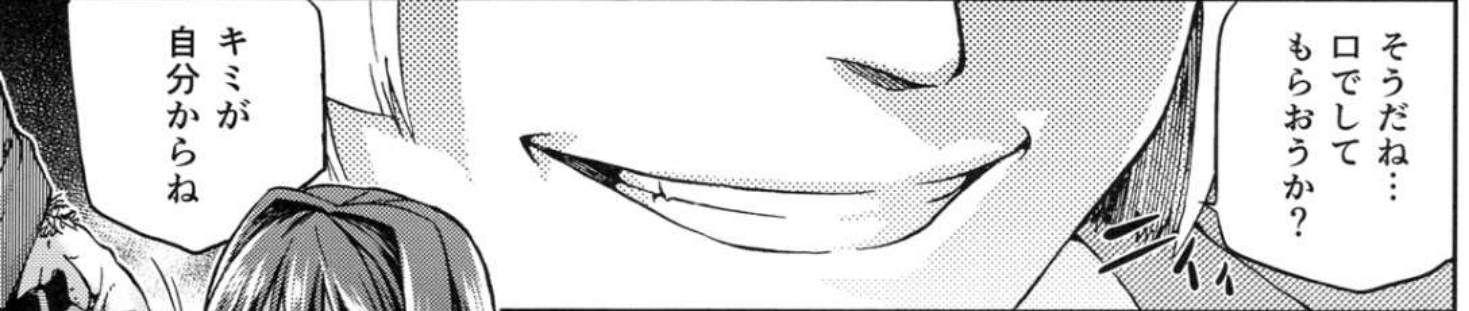




…どうして  
どうして…?

ッ!

カマッ



そうだね…  
口でして  
もらおうか?

キミが  
自分からね



嫌な  
ニオイ…

こんな…  
生臭い…  
これを口で?

ギョッ

ホロッ



初めてじゃ  
ないんだ  
何を恥ずかしがる?





そう  
丹念にね

千口



こんなのが  
私の中に…

何度も  
何度も

れ



ククッ  
熱心にやって  
くれるじゃないか

だがそろそろ  
本格的に頼むよ

千口











よろしい  
今後は吐き出さず  
飲み干したまえ

なっ：



あ…アンタが！

精液を飲んで  
イクとは…  
まるで淫乱だね



…コイツっ！

これは命令だ…  
意味は  
分かるね？



…ッ！



そら  
射精後は  
舐め取りたまえ

感謝を  
込めてね



フム  
良い事を  
思い付いたぞ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ





遅いぞ  
蒼崎!



今日は蒼崎が  
食事当時じゃ  
ないか

.....



悪いわね  
お腹いっぱい  
だし...

出前でも  
頼んで



…  
嫌なニオイ…

それは  
勝手だろう！

お…おい  
蒼崎！



蒼崎  
に  
あ

ホッ…

…何で…  
…私…

…足りない…

これじゃ  
もどかしい  
ダケ

しゅん

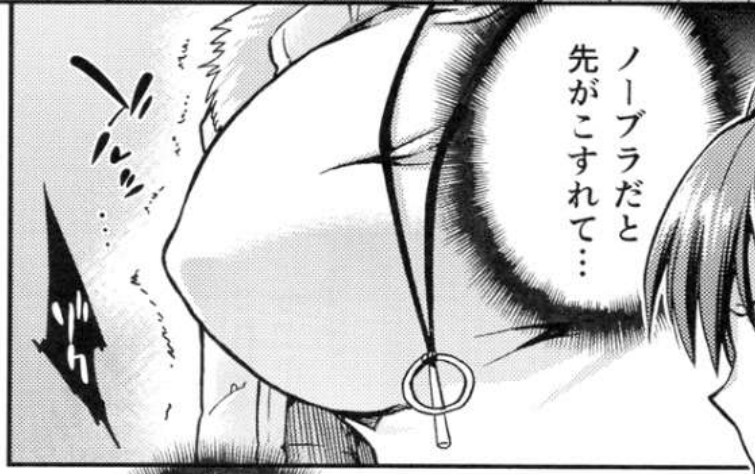
ちゅん





やあ  
来たか  
アオコ

名前で  
呼ばないで  
勘違いされる  
でしょ



ノーブラだと  
先がこすれて…



下も  
スースーして  
落ちつかない…

これじゃ



言いつけ通りにして来たかな？

アスアス...



どっちがかな？ トロトロにしておいて！

この…変態！

ダメ…ッ！  
ちゃんと立たないと…  
コイツの思い通りに  
なんか…！



昨日散々おあづけしたのが効いたかな？  
取りつくろっても無駄さ…

それは…！



さて…





街を案内して  
もらおうか？

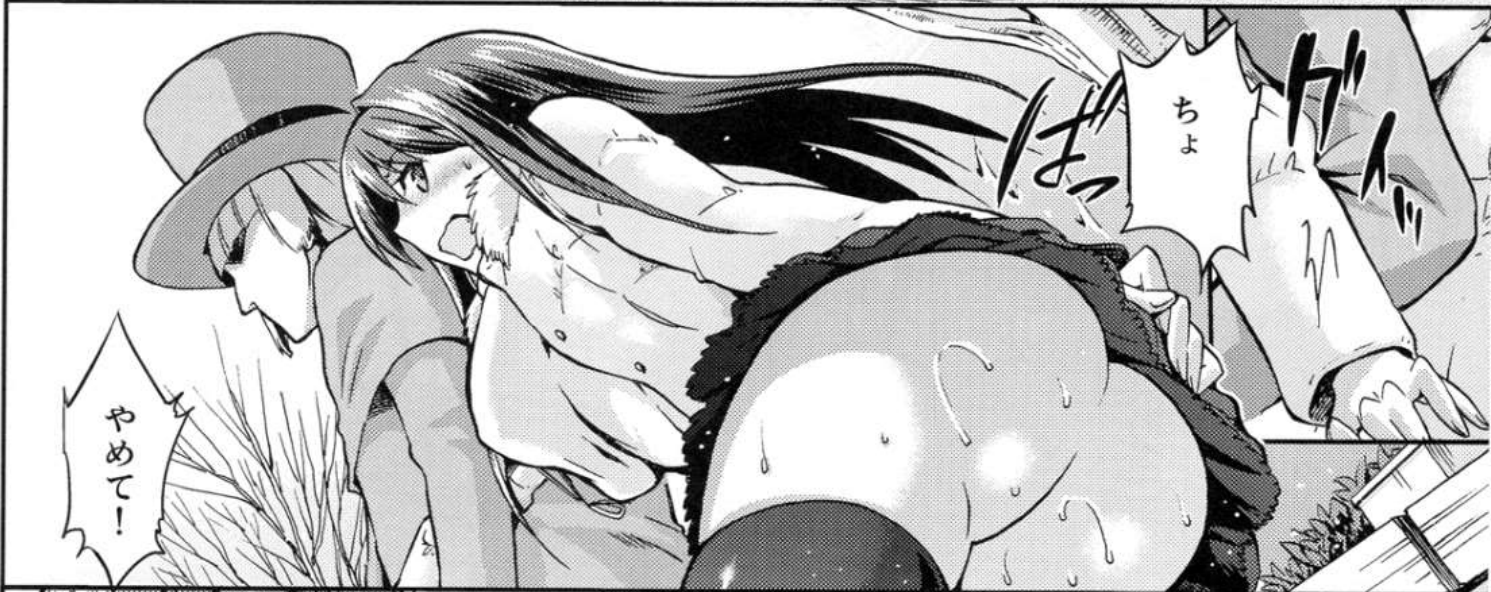
え？

まだこの街に  
不案内だからね

意外そうだが  
何だと  
思ったのかな？



何でも  
ないわよ！



ちよ

やめて！



そんな  
目立つ格好で…

騒ぐと  
余計目立つが…



あの子  
レベル高いなあ  
モデル？  
男連れだろ

あの人  
外人さん？  
カッコ  
良いかも

それとも  
く…！

確かに目立つかも  
しれんが  
人避けの壁は  
必要だろう？  
それに  
らしいじゃ  
ないか…





こんなの…

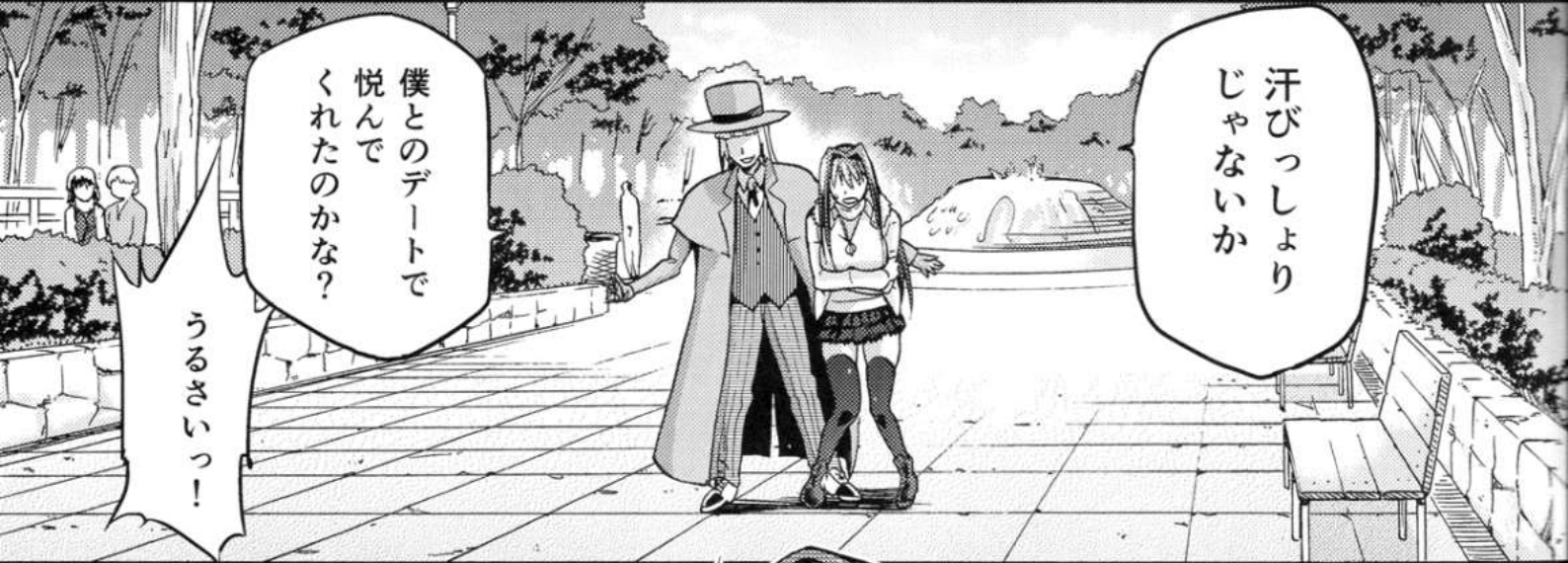


絶対…



絶対…!

ウワサになっちゃう!







汗で透けそう  
じゃないか

そんなに  
見せたいのかな？

何のつもりで  
こんな……！



心外だな  
君とのスリリングな  
デートを  
楽しみたかった  
だけなんだが

ぬけぬけと！



その割には  
発情していた  
じゃないか

これは・  
術のせいだ！



確かに何度も  
私の精を  
浴びたからね

私との回路が  
出来たおかげで  
術が常時  
発動している

もう小細工も  
効くまい



キャ  
ダイターン

やめてッ！





フム  
君もたまらない  
様だし

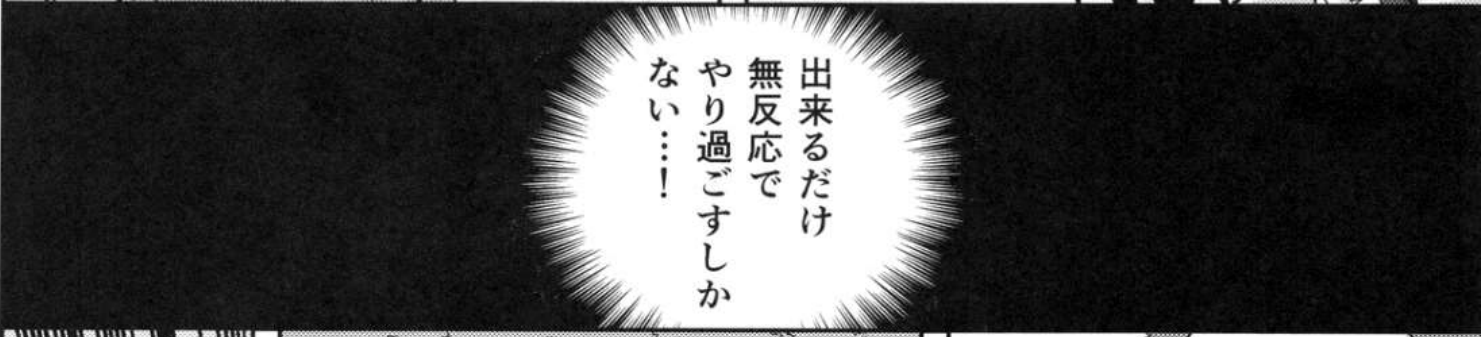
淫乱な  
キミの為に  
ここでしようか？



・正気!?

分かってる  
これは脅しだ

コイツは  
私を  
辱めて  
楽しんでるだけ！



出来るだけ  
無反応で  
やり過ごすしか  
ない…!



ほ…本当に  
ここで…

キョロ  
キョロ

ここなら  
物陰さ

嫌なら  
良いんだよ

ボクは

ボクはね？

く…っ！



ギゅうううう

じ

ム...

あーあー

うう

びん

むうう...

ずっとノーブラだったから先が敏感に...!

びにゆう







あぁあぁ  
あぁあぁ  
あぁあぁ!!?



腰砕けじゃないか...では—



あ...やメ!



何で:体に  
力が入らな—

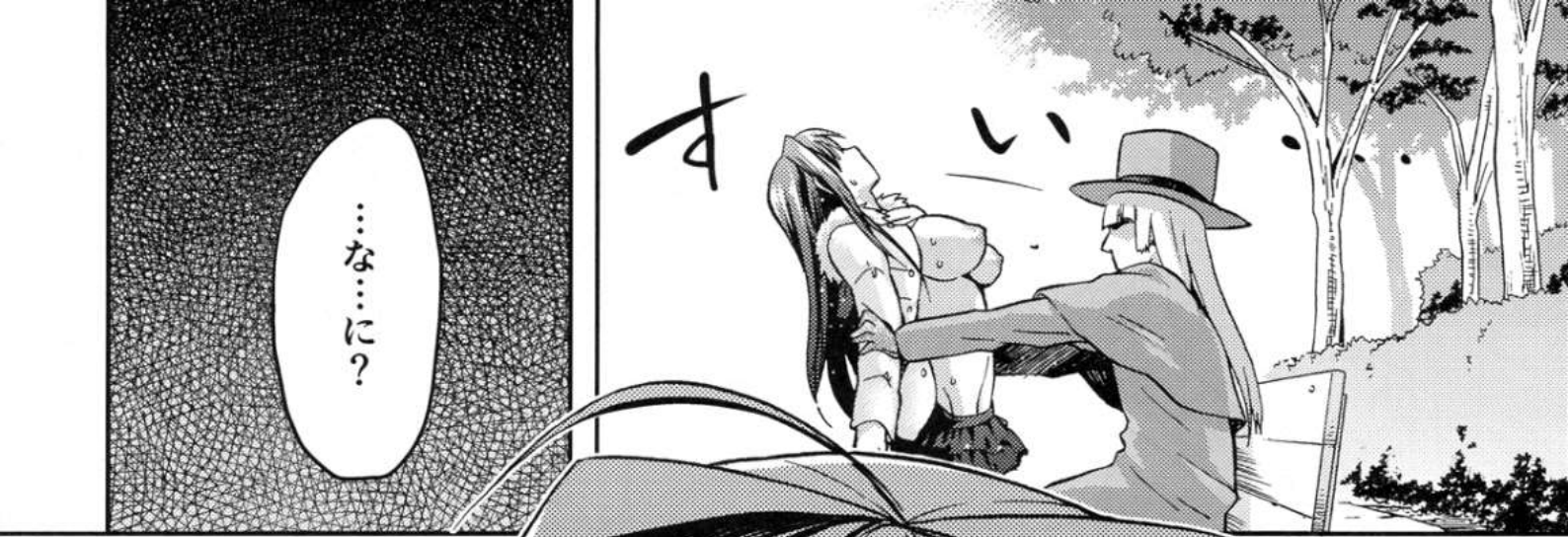


ハハハ  
まさか乳だけで  
イクとはね

これが  
淫乱じゃなくて  
何なのかな?

しにゃう





おかしいさ  
今はホッと  
しなきゃいけない  
ハズだろう？

な・何が  
おかしいのよ

クク：  
ハーツハツハツハツ！！



なぜ  
残念な顔を  
していた？

イタァァ

ウソ：  
…ウソよ！



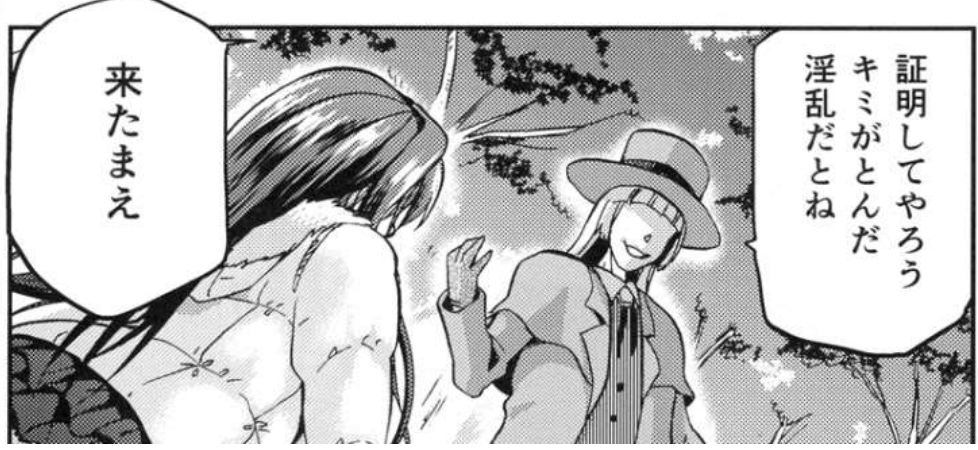
自分で  
立てもしないのに  
何が誤魔化せると  
いうのかな？

…ッ！



…なに・コレ？

チャリッ



証明してやろう  
キミがとんだ  
淫乱だとね

来たまえ





幻術をかけた  
ネックレスだ



カーワイ

あの子  
調子悪いのかな?

周囲には  
服を着ている様に  
見えている



進んでるー

あの外人さん  
彼氏かな?







何…してるの？

!?

ケケケ



てか  
その妙に  
仲の良さそうな  
外人さんは？

小鹿!?

み。  
見えてない  
ハズ

お。  
落ち着いて：



あ…あ  
姉貴の彼氏  
…かな？

へー  
お姉さん  
いたんだ

…うん  
話した事  
無かった？

ススス！

ハウス



ちょ  
ナニして・ッ!

どろり



外人さんは  
フランクだって  
言うけど・

お姉さんに  
勘違い  
されるんじゃ・

だ大…丈夫…

フル



案内しろって  
言われてるし

：立って  
られない…ッ

：フアン

フル

小鹿視点





ホドホド  
にね

ま、  
変なウワサが  
立たない内に



もう…  
…無理ッ!



!!!



…また…  
…ね…

じゃ…  
行くわ

フルッ  
フルッ











オイオイ  
何の抵抗も無く  
くわえこんで

潮まで嘔いて  
イクとは…ね



あれだけ  
焦らして  
おいて…



一突きごとに  
うねって…

イッているね？



どの口が…ッ！





コジカと  
いったかな？

彼女も驚く  
だろうねえ  
この乱れ様を  
見たら

…違うッ！

—誰だって—！

術まで  
かけられて  
あれだけ  
焦らされたら—



だらしの  
無いメスには  
騷が必要だな









ち…違っ…!!



そんなに  
しがついて  
欲しがるねえ；



カ  
カ  
カ

カ  
カ  
カ



ダメッ！



意識が…!!



コレ…

体重が  
全部…ッ！



とあ

どこまで  
声をガマン  
できるかな？



ガッヤ

この程度の  
街だ

ウワサが  
広まるのも  
スグだぞ

ッ！

ガッヤ





甘かった...!

ズッ

ズッ



術まで使われて  
気が狂いそうな  
感覚に襲われて

初めに  
犯された時



されれば  
される程

あれ以上は  
無だって  
思ってたのに

ズッ

ズッ





快感にー

底が  
…無い…ッ!!



いくら  
声を抑えても  
無駄だったかもね

ホラ



丸見えだ

向かいの  
ビルから

…や…





見ないでーッ!?

ズ  
ズ  
...



クハハハッ!  
見られて  
イッたね!!

何回いく  
つもりなのかな?

フルッ  
フルッ



だから  
言ったらう  
キミは淫乱だと!



違うッ!



皆に気付かれて  
しまうなあ?

もう声  
抑えられない  
だろう?



それとも—  
どおすすうるう?

カラオケハウ





もう声がッ!

…ダメッ!



キミから  
求めてくれて  
うれしいよ

違う!

これは  
仕方なく:

だがね  
気付いてない  
だろうが:







ギャラリーが  
集まって来た  
ようだよ



いやっ  
見ないで…

見ないでッ!



さあ  
そろそろ  
トドメだッ!

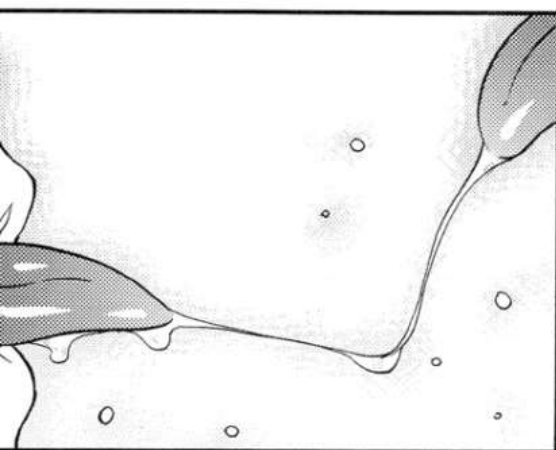
出されたら  
また

もう  
イヤー















まあ  
君がそうすると  
いうなら

そうして  
もらおう

最っ低……ッ

コイツ……



……今度は  
……何よ……

……

……ッ







—どうせ…ッ

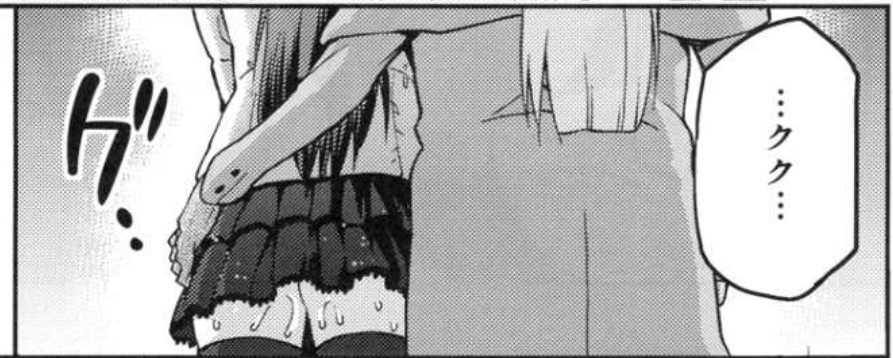
ドクッ!

選択権なんて  
無いんでしょ…ッ!

ヒッ  
ッ

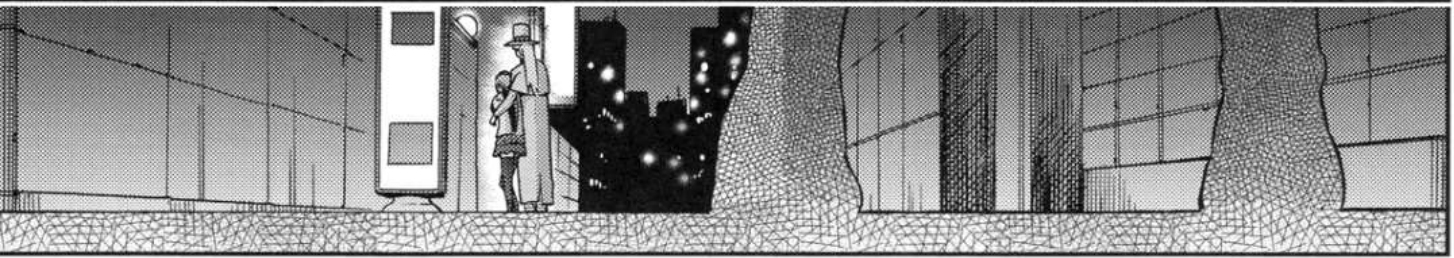


良い娘だ



ゴ!

…クク…



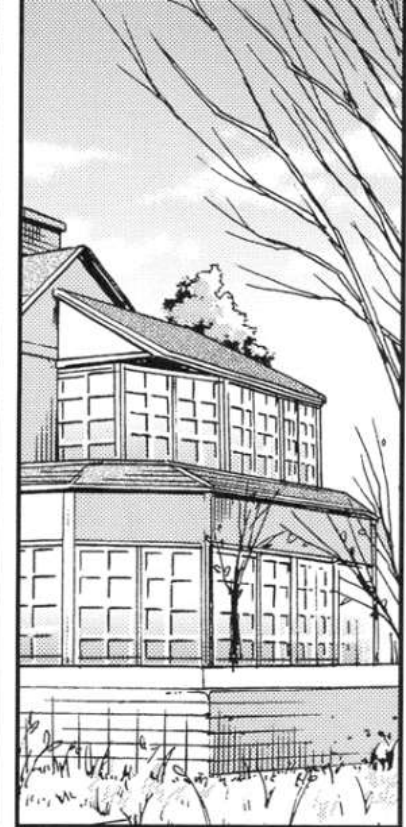
蒼崎：  
今日も遅いな…







蒼崎!



どうしたんだ  
連絡も無しに!

この週末  
何をして—

ばっ



蒼崎!



—ゴメン  
放っというて





不様ね…

—本当に…

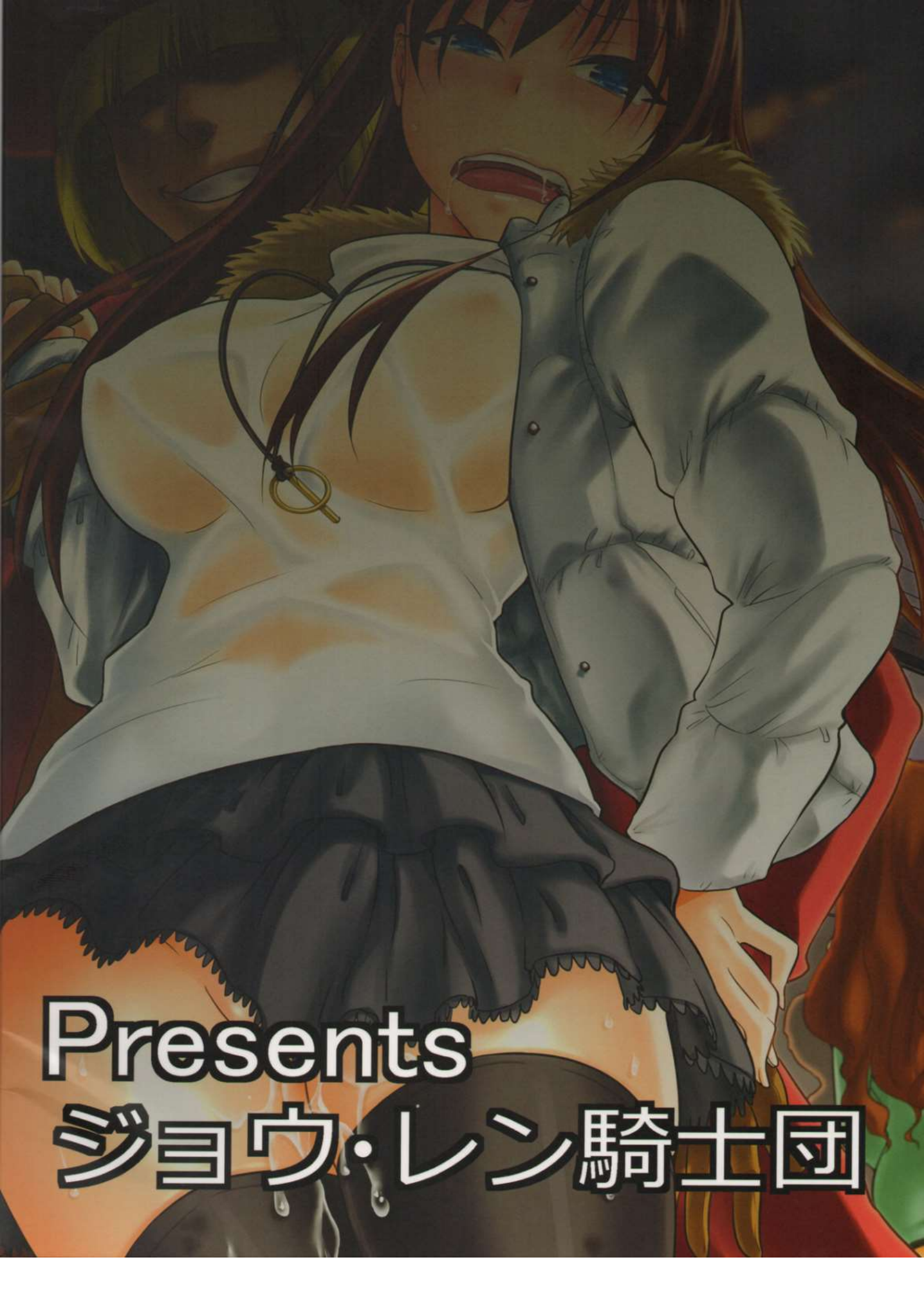


疼いて 体が  
勝手に

何やってんのよ  
……

最低だ…  
…私…

青子BLUE4へ  
続く



Presents

ジヨウ・レン騎士団